

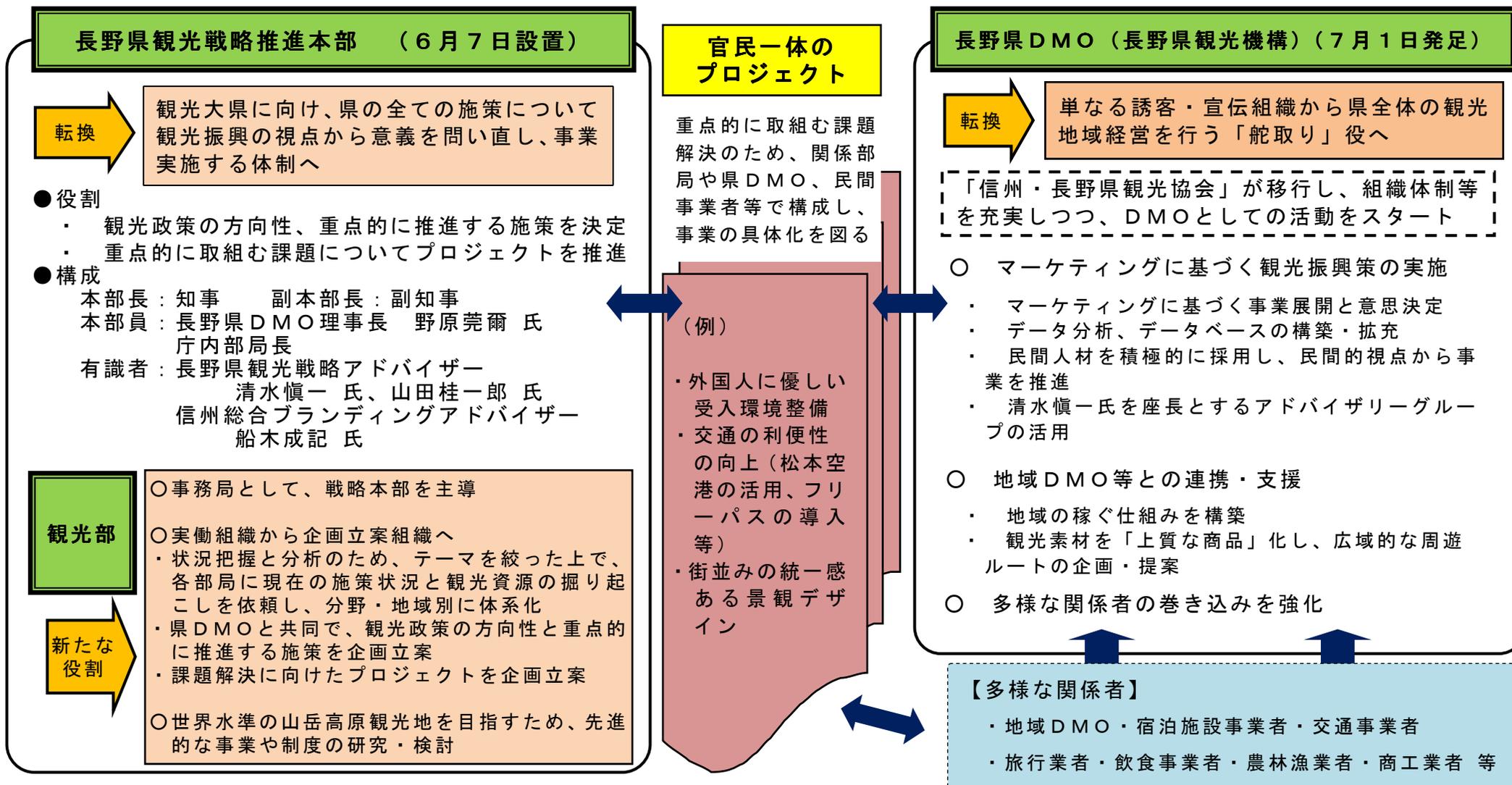
「観光大県」の推進体制について

H28.9.21 現在 観 光 部

1 目 的

幅広い分野にわたる裾野の広い観光産業が、地域経済の発展のけん引役として成長できるよう、「長野県観光戦略推進本部」を設置し、新たに発足する県DMOとともに、「観光大県」に向けた政策の方向性を検討・共有し、観光振興を図る新たな体制を構築する。

2 推進体制



「観光大県づくり」に向けた検討について <<検討たたき台>>

現状認識・課題

- (1) 観光入込客数、観光消費額が低落傾向
- (2) 豊富な観光資源が地域ごとにPRされ県観光の総合力が発揮されていない
- (3) マーケティングに基づくプロモーションが実施されていない
- (4) 急伸しているインバウンドの取り込みが弱い
- (5) 低い客室稼働率、零細な観光事業者

現状を踏まえ、各地域や観光事業者等との意見を十分反映し、同じ目標、方向性を持って関係者が一丸となれる共有の「旗印」として、観光戦略を策定

<<基本的な考え方>>

大地の北海道、海の沖縄県に匹敵する「山岳高原リゾート・信州」を創りあげるために、長野県独自の価値である「山岳高原」を全面に押し出していく。
山岳高原がもたらす自然・歴史・文化・食・健康などの「強み」を活かした観光戦略を持続的に展開する。

「観光大県」が目指す姿 ⇒ 世界水準の滞在型山岳高原リゾート

世界に通用するNAGANOブランド《長野県独自の価値》の構築を通じ、上質な観光を展開することにより、豊かな県土づくりに資する「世界水準の滞在型山岳高原リゾート」を創る！

達成すべき目標

- ◆観光消費額の増加トレンド実現
- ◆地消地産による地域経済の循環の仕組み構築
- ◆観光産業の活性化による雇用や移住の促進

想定期間

3年程度

検討方向性

長野県でしか味わえない魅力を活かした観光地域づくり

- 「独自の価値」＝「山岳高原」
- 「独自の価値」を最大限活かした「強み」の提供キーワードを「五感で楽しむ」とし、観光地域づくりの三本の柱を建てる

3千メートル級の山々が連なり、県外と隔てる独特の自然環境

自然・健康

山岳高原がもたらす景観・環境やそこでの暮らし五感で自然を楽しみ、健康をもたらす様々なアウトドア<<動・静>>

山々により仕切られた多様な生活圏が生み出し、育んだ多彩な歴史・文化・暮らし

歴史・文化（伝統・暮らし）

奈良・京都の都文化や東京とも異なる、縄文の太古からの日本古来の歴史・文化が息づいている信州の風土を五感で楽しむ

山岳高原が育んだ日本一、世界最高級の健康長寿の暮らし

ユニバーサル受入環境

子どもから高齢者まで、外国人も障がい者も、誰もが五感で味わえる居心地の良い受入環境を整備

<<検討の視点>>

具体的な「楽しみ方」の検討

- 多様な観光資源を洗い出して徹底活用
- 観光の地消地産を推進
- 三本柱の展開を検討

観光産業の振興・観光地域づくりの検討

- 投資やビジネスチャンスが拡大する環境づくり
- 地域の観光産業の育成強化と観光地域づくり
- 地域の必要な観光インフラの整備
- 県DMOと地域DMOの強化

+

検討体制

- 観光部・県DMOが中心になり、観光事業者・地域DMO等との意見交換に基づき、観光戦略推進本部において検討
- 必要に応じて官民一体のプロジェクトを設置

「独自の価値」と「強み」を活かした観光地域づくりの柱（たたき台）

- 「独自の価値＝山岳高原」
- 「独自の価値」を最大限活かした「強み」の提供の柱
＝キーワードは「五感で楽しむ」

独自の価値の要素

- 3千メートル級の山々（自然環境）
- 三つのアルプスが連なっていること（自然環境）
- 県境は全て山であり、県内も山によって仕切られていること（自然環境）
- 地形により多様な生活圏が生まれ、多くの文化・歴史が育まれてきたこと（歴史・文化・暮らし）
- 世界トップクラスの健康長寿（健康長寿）

独自の価値を源泉とした「強み」の例

豊かな山岳高原と健康長寿世界一

日本一の山岳県	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 近代日本登山 発祥の地！ 3,000m峰の数（15座）・百名山の数（29座）日本一！ ➤ 全国で唯一、日本アルプス全て十ヶ岳にアクセス可能 ロープウェイも充実！
豊かな自然・地形とアクティビティ環境	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 県土の2割が自然公園、5カ所の国立公園、温泉地221カ所、日帰り温泉671カ所 日本一 ➤ スキー場の数 全国2位（85カ所） キャンプ場の数 日本一（192カ所） ➤ 豊かな森林、田園景観（森林セラピー基地10カ所・農家民宿全国シェア 日本一） ➤ はっきりとした『四季』により、季節の楽しみが多彩
日本のだ真ん中	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 三大都市圏からのアクセス良好（各地から電車・車で約1時間～4時間以内）
山の麓で悠久の時間が刻む「歴史・文化」	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 8つの国宝、81の重要文化財構造物 東日本随一 (最古の国宝「縄文のビーナス」、最古の国宝天守閣「松本城」) ➤ 人と文化の交わる歴史街道（日本遺産「木曾路」など） ➤ 美術館、博物館の館数 359施設 日本一 ➤ 縄文時代から続く柱立て信仰の諏訪大社御柱祭
高い標高と寒暖差等がもたらす地域の個性的な「食文化」	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 全国シェアの高い農産物（セロリ、レタス、きのこ、はくさい、そば、りんご、ぶどう、もも、わさびなど） ➤ 農家戸数 104,759戸 日本一 ➤ 県民の野菜摂取量 日本一 ➤ 豊富な 発酵食品（日本酒、ワイン、漬物、みそ） ➤ 山国ならではの食 ジビエ（山肉）

長野県が提供する「アウトドア」とは 《動と静》

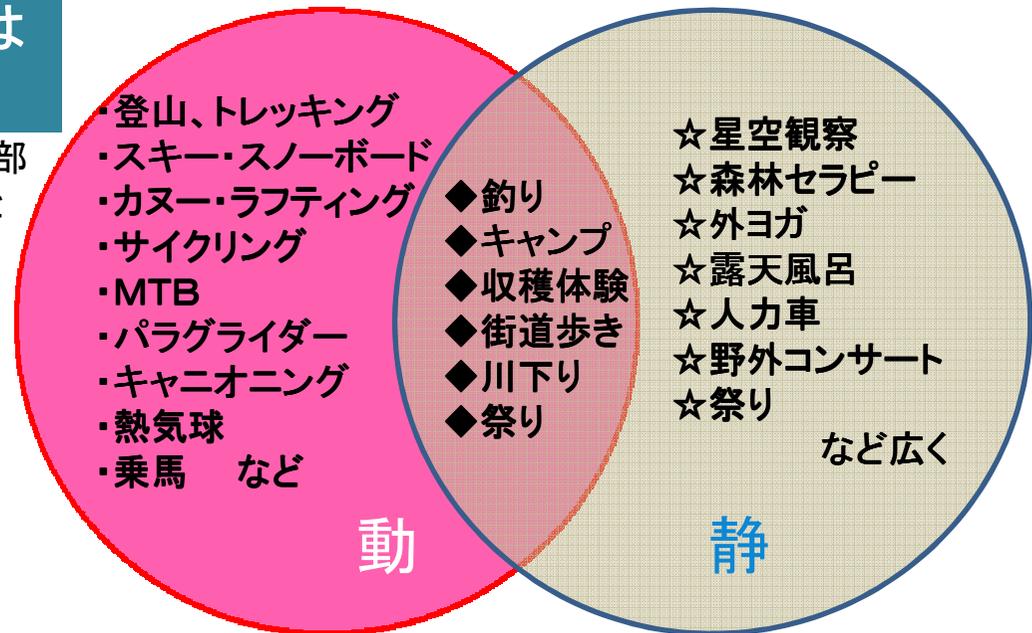
自然に浸ることのできる「アウトドア」は、都市部とは対極の概念であり、本物の「癒し」・「歓び」と「健康」をもたらす「アウトドア」を推奨

【参考】北海道(ニセコ町など)

- 全域が山や森、川、湖沼、湿原など雄大で豊かな自然に恵まれたアウトドア活動に適した地域であり、種類豊富なアウトドア・アクティビティが提供されている。
- 特に、冬期のニセコエリアのパウダースノーは世界的に人気となっている。
- グリーン・ウィンター期とも、ほとんどのアウトドア・アクティビティを体験することができる。

【参考】群馬県みなかみ町

- 豊かな自然を活かしたアウトドア体験観光が盛んであり、現在では町全体でアウトドアに力を入れている。
- 利根川の上流部として川幅や水流がバラエティに富んでおり、「ラフティング」、「キャニオニング」等の水辺のアクティビティを主流としているほか、気球やMTB、ツリークライミング、バンジージャンプ等、豊富なアクティビティを体験することができる。
- 国内有数の豪雪地帯であり、町内に10カ所のスキー場がある。
- 安全対策等のため、町内の32事業者が「アウトドア連合会」を設置している。
- 例年、様々なアクティビティを一度に楽しめるアウトドアイベント「アドベンチャーフェスティバル」を開催している(約10年目)



【参考】愛媛県

- 「瀬戸内しまなみ海道」を中心に、国内サイクリング観光のパイオニア「自転車の聖地」となっている。
- 日本で初めて海峡を横断する「瀬戸内しまなみ海道」を始め、潮風を感じながら走る海沿いの道が特徴。
- しまなみ海道沿線の自治体では、レンタサイクルを運営しており、気軽にサイクリングを満喫できる。

【参考】長野県 阿智村

- 2006年に環境省の「全国星空継続観測」で日本一星が輝いて見える場所選ばれたことも契機に、村内にあるスキー場(富士見台高原ヘブンスそのはら)に注目し、「日本一の星空」を独自の価値として観光地域づくりに取り組んでいる。
- ナイトゴンドラで標高1,400mまで昇り、満点の星空を楽しむ「日本一の星空ナイトツアー」には、若いカップルやファミリー層を中心に年間約60,000人が訪れ、全国から「日本一の星空の村」として注目されている。
- 旅館オーナー、商工会メンバー、行政担当者など多様な主体で構成された「スタービレッジ阿智協議会」を設置し、様々な団体や村民も巻き込みながら「星の村・阿智」として全国ブランドへと展開している。

(参考) 独自の価値を源泉とした「強み」の詳細例

自然・景観・地勢

- 近代日本登山発祥の地
- 日本百名山多く 日本一[29座]、3,000m級 日本一[15座]
- ロープウェイ等で気軽に登れる山 8座 (うち3,000m級:御嶽山、乗鞍岳)
- ロッククライミング(川上村の金峰山は「日本のヨセミテ」と呼ばれる)
- アウトドアアクティビティ多い [スキー場85か所(全国2位)、キャンプ場192か所(日本一)、トレッキングコース141か所]
- 温泉地多い[221か所]、特に、日帰り温泉数は日本一 [671か所]
- 美しい空気や水 (全国唯一PM2.5基準超えなし、名水百選7か所)
- 棚田百選認定地区数 日本一 [16か所]
- ユネスコ・エコパークの登録数2カ所(志賀高原、南アルプス)
- 平均標高 日本一[1,132m]
- 日本一長い信濃川の源流
- ふるさと信州風景百選
- 観桜期間が長い 南北に長く、標高差があり、4月初旬から5月上旬まで
- 豊かな環境、生物多様性 蝶の生息種(149種、全国でも有数)
- 本州の中央、各地からアクセスしやすい(三大都市圏の中央的位置)
- 交通の利便性 新幹線、高速、リニア、松本空港国際化
- はっきりとした四季により、季節の楽しみ方が多彩
- 山岳地帯に広がる公共牧場 (美ヶ原、長門、戸隠、菅平、山田、高ボッチ等)

健康長寿

- 長寿日本一【世界トップクラス】[男性80.88歳 女性87.18歳]
- 森林セラピーの基地数等 日本一 [全国62か所中 10か所]
- 野菜摂取量 日本一 [男性379.4g/日 女性364.8g/日 全国平均を大幅に上回る]

食

- 農家多い 日本一 [104,759戸]
- 「おいしい信州ふーど(風土)」現在159品
- 季節の山菜、信州そば、おやき、ジビエ、地酒等
- 道の駅の数 全国3位[43か所]
- 日本一の高原野菜産地 レタス・セルリー・加工用トマト・きのこ(なめこ、えのき、ぶなしめじ) プルーン・ブルーベリー生産量日本一、味噌・寒天出荷額日本一、高野豆腐出荷量日本一
- ワイン用ぶどうの生産量 日本一、ワイナリー数 全国2位[32件]
- 日本酒酒蔵数 全国2位[81件]
- お米の1等米比率 日本一[95.9%]
- 日本一品質の高い開田高原のチーズ(ALLJAPANナチュラルチーズコンテスト最高賞)
- おいしさで認定する信州プレミアム牛肉や、幻の高級地鶏信州黄金シャモ
- 長野県の食文化(虫を食べる、粉を食べる)
- グリーンツーリズムの充実(農家民宿全国シェア日本一)

歴史・文化

- 8つの国宝(善光寺・松本城、土偶(縄文のビーナス、仮面の女神)など)と81重要文化財構造物は、近畿地方以外では全国随一(全国6位)
- 歴史的な街並み、文化的景観 重要伝統的建造物群保存地区6件(妻籠宿、奈良井宿、海野宿、青鬼、木曾平沢、稲荷山)重要文化的景観2件(姨捨の棚田、小菅の里及び小菅山)
- 歴史の道48(中山道、北国街道、千国街道(塩の道)、善光寺道ほか)
- 日本風景街道ルート数日本一
国土交通省に登録されている風景街道138ルート中、長野県は12ルート
- 県内遺跡の数14,684、全国有数の遺跡保有県
- 縄文文化発信サポーターズ(28.7.12設立)
(長野県参加市町村:岡谷市、諏訪市、伊那市、茅野市、塩尻市、東御市、川上村、御代田町、長和町、下諏訪町、富士見町、原村)
- 国・県指定の史跡・名勝・天然記念物(種類豊富な史跡・名勝・天然記念物)
国特別史跡1件(尖石石器時代遺跡)、国特別名勝特別天然記念物1件(上高地)、国特別天然記念物4件(白馬連山高山植物帯、ライチョウ、カモシカ、白骨温泉噴湯丘)、国史跡34件、国名勝4件、国天然記念物24件、県史跡70件、県名勝6件、県天然記念物104件
- 山岳に育まれた「文化」 御嶽山、穂高神社、諏訪神社御柱祭など
- 国・県指定等の民俗文化財(多様で特殊な祭り)国重要民俗文化財16件(新野の盆踊り、霜月神楽、野沢温泉道祖神祭り、小菅柱松行事など)、国選択無形民俗文化財29件、県民俗文化財34件、県選択無形民俗文化財29件
- 博物館数 日本一 [359館]
- 伝統工芸品多い → 木工品、織物、金属加工品等。みやげもの化の推進
- パワースポットが多い(戸隠神社、諏訪大社、穂高神社、分杭峠等)
- 映画、小説等の題材となった地が多い(神様のカルテ、夜明け前、聖職の碑等)
- 教育県 → 学ぶことに熱心
- 明治～昭和の面白い建築物が多い(開智学校、旧知事公舎等)
- 古民家や古い建物をリノベーションした魅力的な店舗・カフェが多い
- 疎水の充実(疎水100選中5か所、全国1位)
- 信州「土木のお宝」 ①長期間経過して現存し活用しているもの②意匠や構造が特徴的なもの③独特の伝承を有するもの」70施設

その他

- 移住したい県No1 10年連続日本一
- 自然エネルギーの先進的事例
(公共施設の屋根を活用した太陽光発電、バイナリー発電、木質バイオマス)
- 自然エネルギー自給率100%超の市町村数、日本一(全国61市町村中、13)
- ごみの排出量の少なさ 日本一(838g/人日 全国平均を大幅に下回る)
- 日本で最も美しい村 日本一[8町村]
- 山国気質 一度仲間になると、すごくいい